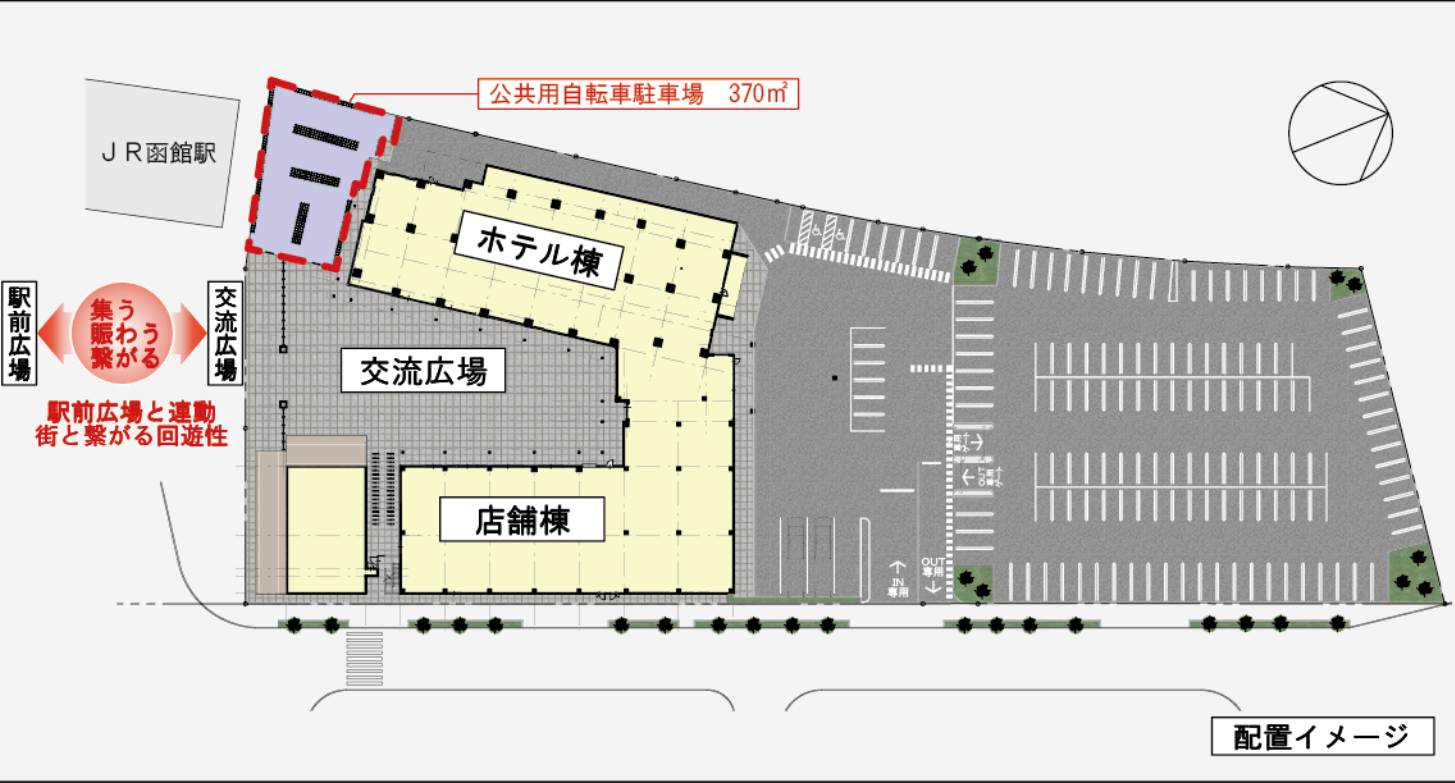


事業概要	- 施設開業予定：2019年12月 - 施設の特徴：「和」「洋」「クラシック」「モダン」をキーワードに、函館の景観に調和し、国内外の観光客・函館市民の双方に利用価値の高い、交流広場・商業施設・ホテル&サービスアパートメントからなる、話題性のある施設を計画します。また、宿泊施設は広域観光・長期滞在を見据えた、施設整備を計画します。	
施設概要	- 施設用途：ホテル&SA（サービスアパートメント）1棟、店舗 2棟 - ホテル&SA棟 建築面積：1,631.25㎡、延べ床面積：11,210.83㎡、構造規模：鉄筋コンクリート造、地上11階・塔屋1階建て - 店舗棟 建築面積：1,393.05㎡、延べ床面積：2,504.12㎡、構造規模：鉄骨造、2階建て・木造、2階建て - 施設全体 建築面積：3,024.30㎡、延べ床面積：13,714.95㎡	- 駅前広場と連動する交流広場を計画 - 一般自動車用駐車場142台を計画 - 大型バス用駐車場を計画

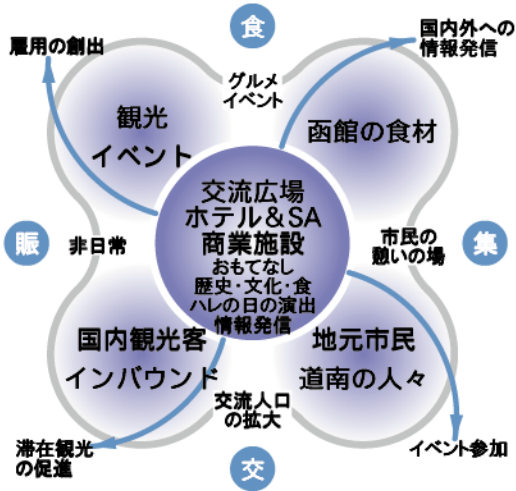


事業の基本方針

- 観光と交流によるにぎわい創出の拠点をつくります。
 - 交流広場を整備し、駅前広場と連携したイベントや周辺地区で開催されるイベントと連携し、函館駅前の活性化に貢献します。
 - 観光・宿泊の拠点として函館の顔にふさわしい宿泊施設を整備します。
 - 函館市民も利用できる商業施設を整備し、にぎわいのある施設とします。
 - 函館市街地・郊外及び道南地区に位置する観光の拠点として、観光情報の案内等にご貢献します。

開発コンセプト

- 【交流広場】【ホテル&SA】【商業施設】の織りなす複合開発計画
 - 函館市民・観光客が交流できる広場を設置し、「にぎわい」を創出する新たな観光スポット
 - ・函館市の玄関口にふさわしい、街並みを再現。
 - ・交流広場を使った活気あふれるイベントの実施。
 - ・駅前広場との一体性・連続性を持ったイベントの実施が可能。
 - ・函館市内で行われる各種イベントとの連携が可能。
 - 函館の顔にふさわしい「宿泊施設」
 - ・客室面積16～159㎡のゆったりとした客室261室による構成。
 - ・滞在型観光に適した「サービスアパートメント」の整備。
 - ・ホテル従業員の地元採用・地元企業の積極活用。
 - 函館の特産品・お土産販売を通じて質の高いおもてなしを実現し、函館経済に貢献
 - ・地元企業（テナント）を積極的に誘致。
 - ・函館の食材を積極的に使ったレストラン。
 - ・観光客の心に残る賑わいの演出。



外観コンセプト

- 函館西部地区の「歴史的街並み景観」のオマージュとしての景観を創出
 - 独自の「和洋折衷」のデザインとして昇華させた函館の歴史・精神に学び、「和」「洋」「クラシック」「モダン」を組み合わせ、華やかな街並みと調和するデザインとします。
 - JR函館駅からの連続性や周辺に与える圧迫感の軽減、駅前広場との一体性も同時に意識し、歩行者の視点に配慮しています。

事業スケジュール

- 2018年 3月15日～工事着手
- 2019年10月 ～竣工
- 2019年12月 ～開業